⑤ 郡上地域

■該当市町村

郡上市

■区域



■景観上の特性

・ 北部山間部に、分水嶺が東西に延 びる。

地形

自

然

- 北部の高原には、ミズバショウ等の貴重な植生も見られる。
- ・ 長良川沿いに比較的平坦な丘陵部 が広がり、各地で美しい渓谷が見 られる。また、その両側には、山 間部が広がる。

土地利用

- ・ 北部には、年間を通じたリゾート地が形成されている。
- ・ 山間部には、豊かな自然と融合し た集落地が形成されている。
- ・ 中央部の集落地には、古いまち並 み、石畳、湧水、郡上おどり等の 歴史・文化的資源が残されている。
- ・ 中央部を南北に東海北陸自動車 道、長良川鉄道、国道 156 号が通 り、これらに沿って市街地や集落 が形成されている。

地域の骨格を形成する軸線として、 次のものがある。

• 河川:長良川、吉田川

軸

道路: 東海北陸自動車道、国道 156号、158号、256号、472号

線

• 鉄道:長良川鉄道

■景観構造図

郡上地域



■景観形成方針

①長良川等の変化に富んだ美しい河川景観の保全及び形成

- ・長良川や吉田川等は自然公園の指定を受けている自然環境の豊かな河川であり、 山間の渓谷から市街地内まで地域の各地で変化に富んだ流れをみせ、背景の山並みの緑とともに美しい河川景観を形成している。
- ・河川沿いの建築物や橋梁、河川構造物等の整備に当たっては、周囲の環境に配慮し、美しい河川景観の保全及び形成を図ることが必要である。



②歴史を活かした景観の保全及び形成

- ・八幡地区や白鳥地区では、全国に知られた郡上踊りをはじめとした伝統文化が多く残されており、歴史と文化に根ざした市街地が形成されている。
- ・集落地内の湧水、古いまち並み、石畳の 坂道等が城下町の風情を今も残し、落ち 着いた歴史的な景観を形成している。
- ・これらの歴史を活かした景観の保全と形 成が必要である。

やなか水のこみち



③高原における豊かな自然景観の保全

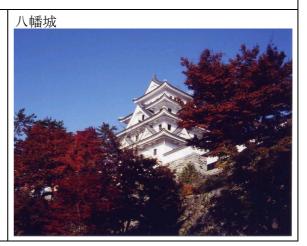
- ・ひるがの高原や明宝高原等では台地状の 美しい山並み景観が見られるほか、長良 川の源流となる湧水やミズバショウ等の 植生をはじめとする貴重な自然景観が見 られ、年間を通じたリゾート地となって いる。
- ・リゾート地の開発に当たっては、自然と の調和を図り、高原における豊かな自然 景観の保全を図ることが必要である。

ミズバショウ群生地



④城山等のシンボルを活かした景観の形成

- ・市街地中央にそびえる城山と山頂の八幡 城は、城下町郡上八幡の歴史文化のシン ボルとして親しまれており、良好な市街 地景観を形成する重要な要素である。ま た、農村集落では神社仏閣や樹木が景観 上重要なシンボルとして、集落の景観を 形成している。
- ・城山や神社仏閣等の市街地や集落のシンボルを活かした景観の形成を図ることが必要である。



⑤自然環境と調和した農村集落景観の保全

- ・長良川や吉田川等の川沿いに位置する小さな集落では、水田や畑地と住宅や神社 仏閣等が昔ながらの、のどかな農村集落 の景観を形成している。
- ・こうした自然環境と調和した農村集落の 景観を保全することが必要である。



⑥豊かな自然と融合した山村集落景観の保全

- ・鷲ヶ岳や大日ヶ岳等からなる白山連峰を 背景とした奥美濃地方の山間部には、豊 かな自然と融合した山村集落の景観が形 成されている。
- ・こうした周辺の自然と調和した山村集落 の景観の保全を図ることが必要である。



⑦歴史的な様式の建築物を活かした景観の形成

- ・長良川中流域の八幡周辺では、屋根を瓦 葺きの切妻屋根、外壁を表面のみ板壁そ の他は土壁等の塗り壁とした伝統的な様 式の建築物が多くみられる。
- ・これらの歴史的な様式の建築物の保存を 図り、これらの建築物を活かした景観の 形成が必要である。

